

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください

B事業

「テクニカルショウヨコハマについて、効果的なマッチング機会の確保や展示会としての魅力アップなどの活性化に向けた事前調査について」の調査事業

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

国内市場の縮小などを背景に中小企業・小規模企業にとって販路開拓・拡大は重要な経営課題であり、支援機関として、販路支援の充実・強化を図るなど中小企業・小規模企業のニーズにより応えていくことが求められている。

こうした課題認識のもと、企業の現状・ニーズや専門家の意見などを踏まえ、「テクニカルショウヨコハマ等販路支援の活性化に向けて」をテーマに、令和2年度の実施に向けて令和2年3月までに販路支援の活性化に向けての方向性を策定するものである。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

方向性の策定に向けて、企業へのアンケートを実施し販路開拓・拡大の現状やニーズなどを把握するとともに、中小企業経営者や展示会運営、販路支援などに精通する専門機関などで構成する検討会を設置し活性化に向けての検討を進めた。

そして、これらのアンケート結果や検討会での意見などを踏まえ、活性化の方向性として「活性化に向けての基本方向」及び「基本方向に基づいた取組」を取りまとめた。

具体的には、展示会の充実・強化を図ることとし、出展者に対しての出展プランニング支援や情報発信支援を行うとともに、出展者間又は出展者・来場者間の交流やマッチングの場を提供するものである。

また、新たにインターネットを活用した販路支援に取り組むこととし、インターネット上での展示会を開催しマッチングの機会を増やすものである。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からも、こうした直接面談を経ずに行う手法は意義があるものである。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

今回、取りまとめた内容は、企業の現状やニーズを反映させるとともに、中小企業経営者、専門機関の意見などをもとに策定したことで、効果的で実効性の高い方向性を示すことができ、当初の目標を達成することができた。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

今後（令和2年度）は、神奈川県、横浜市等との連携のもと、中小企業・小規模企業が取り組む販路開拓・拡大の一助となるよう各取組を具体化していく。

また、地域の支援機関等との更なる連携を図り、地域資源等を活用して販路開拓・拡大に取り組む中小企業・小規模企業に対して、充実・強化する当センターの販路支援の普及促進を図っていく。